

学校番号	406
------	-----

令和3年度 情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	社会と情報「社会と情報 NEXT」（数研出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<p>情報化の発展が急激に進む中で必要となる情報活用能力を身につけます。パソコンを使った実習とワークシートなどを用いた座学を行います。ワークシート等の課題が毎回提出されますので、欠席をせずしっかり取り組んでください。評価は毎回の課題の提出や実技テスト、定期考査、授業への取り組み方を総合的に判断します。</p>

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・社会にあふれる情報を適切に活用できるように、科学的な知識に基づいた思考力を身につける。 ・正しく情報機器を使い、情報を効果的に集め、整理し、伝える方法を知る。 ・受け手のことを考えながら発信・伝達する能力を身につける

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を多角的・多面的に考え、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らのICT機器活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任、特に社会への影響を考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている 特に文書作成ソフトや表計算ソフトを使用し、実用的な情報処理能力の習得を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評 価 方 法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査等の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果等	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果等

<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。</p> <p>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>
--

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
1学期	序編 情報とメディア	第1章情報とメディアの特徴 ○情報の特徴など ○文書処理ソフトウェア ○インターネットの活用	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:情報機器に興味を持ち、積極的 に取り組もうとしている。 b: 学んだ技術を活用することがで きている。 c:文書処理ソフト等の情報機器を 使いこなせている。 d: 文書処理ができる。	授業観察 実習作品 ワークシート
1学期	第1編 情報社会と情報モラ	第1章 人・社会とのかかわり ○電子メールの活用 ○ネットトラブル ○ネット詐欺 第2章 技術とのかかわり ○情報セキュリティ、暗号化 第3章法とのかかわり ○知的財産権、著作権	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a: 自分の生活を振り返り、安全な 情報機器活用を考える。 b:情報の扱いの危険性を理解し、 対策法を自分で理解できる。 c: 情報モラルをふまえて、情報機 器を使いこなせている。 d: 情報の危険性を理解している。	ワークシート 授業観察 定期考査
2学期	第2編 デジタル情	第1章 情報のデジタル表現 ○デジタル情報の表し方 ○デジタルの表現 第2章 情報の表現と伝達 ○情報の発信と注意点 ○プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:様々な形式の情報を興味を持ち 理解しようとする。 b: デジタル情報を分析できる。 c: 正しく情報の伝わるプレゼンが できる。 d:情報の形式を理解している。	実習作品 授業観察 定期考査
2学期	第3編 情報通信ネッ	第1章 コミュニケーション手段 の発達 ○通信とその発展 ○マスコミュニケーション ○コンピュータによる通信 第2章 インターネットのしくみ ○通信プロトコル、IPアドレス	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 	○ ○ ○ ○ ○	a:情報化が、身近でどのような影 響が出るかに興味を持つ。 b:様々な通信方法について考え、 比較することができる。 c: 通信形式を理解している。 d: セキュリティを高める方法を理解 している。	ワークシート 授業観察 定期考査
3学期		第1章 情報社会における問 題解決 ○問題解決 ○表計算ソフトウェアの利用 第2章 情報システム ○社会における情報システム	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:情報社会課題に興味を持つ b:表計算ソフトで何ができるのかを 理解している。 c:表計算ソフトを使用できる。 d:情報社会の課題の理解ができ る。	ワークシー 実習作品 授業観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目にお
いて特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。